

上武大学看護学研究所紀要

Bulletin of Research Institute of Nursing and Medicare Management, Jobu University

第2卷 第1号

上武大学看護学研究所

Research Institute of Nursing and Medicare Management, Jobu University

目 次

[原 著]

産業保健業務担当者を対象とした研修プログラム構築に関する研究 (I)

一面接法による産業保健業務に必要な知識や能力の検討—

.....大野 絢子・新納 美美・松岡 治子..... 1

産業保健業務担当者を対象とした研修プログラム構築に関する研究 (II)

一面接法による実務者が求める研修内容の検討—

.....松岡 治子・新納 美美・大野 絢子..... 9

群馬県の産業保健に関わる保健師・看護師の労働実態

.....松岡 治子・竹内 一夫・太田 晶子・大野 絢子.....17

幼児を持つ親への健康教育プログラムの開発

.....金泉志保美・佐光 恵子・中下 富子・大野 絢子.....25

知的障害養護学校高等部において養護教諭が行う家族支援

.....中下 富子.....31

寝たきり患者の手指細菌汚染状況と周囲物品への細菌伝播状況からみた手浴の必要性

～細菌学的検討を通して～

.....杉下美穂子・古畑 健司・霜島 正浩・城生 弘美.....47

居宅介護サービス利用者の介護保険サービスに対する利用者満足度に関連する要因の検討

.....小林亜由美・佐藤 由美・長岡 理恵・沼田 加代・矢島まさえ・大野 絢子.....55

[総 説]

介護保険下におけるケアマネジメントの実践と評価に関する研究 第2報

—ケアマネジャーの専門性をめぐる研究動向—

.....佐光 恵子・内藤 和美.....63

[研究報告]

母親の抱える育児不安とその援助 —医療従事者の事例を通して—

.....中島 陽子・柴田眞理子.....73

中学2年生とその保護者の性に関する意識調査 —性教育における看護専門職の役割—

.....石沢 敦子・佐光 恵子・矢島まさえ.....83

看護観の構成要素と形成過程 —入学時と卒業時の比較—

.....船津 信子・石川伊征子・大嶋 秀子・伊藤まゆみ.....89

慢性病を持つ独居高齢者が診療所通院に感じている意義

.....大同 由乃・渡辺みどり・伊藤まゆみ.....95

胃内視鏡検査時の禁食による検査値の変化と自覚症状について

.....内山ちく江・深津ひろ子・伊藤まゆみ... 103

看護管理者の自己評価に関する意識とこれからの看護管理者教育の課題

～婦長機能評価マニュアルによる基本的能力評価～

.....横山 利枝... 107

急性白血病患者の社会生活を支えるサポートの現状と問題点 第1報

～心理的側面に焦点をあてて～

.....秋山 美加... 115

投稿規定..... 125

上武大学看護学研究所紀要投稿規定

1. 投稿者の資格

投稿者は上武大学看護学研究所研究員とする。但し、編集委員会から依頼された原稿についてはこの限りではない。

2. 原稿の種類

1) 原稿の種類は、総説、原著論文、研究報告、その他であり、それぞれの内容は下記のとおりである。

【総説】看護学に関わる特定のテーマについて多面的に内外の知見を集め、また文献等をレビューして、当該テーマについて総合的に学問的状况を概説し、考察したもの。

【原著論文】研究論文のうち、研究そのものが独創的で、新しい知見や理解が論理的に示されており、看護学の知識として意義が明らかであるもの。

【研究報告】内容的に原著論文には及ばないが、研究結果の意義が大きく、看護学の発展に寄与すると認められるもの。

【その他】看護学あるいは看護学の研究に関する見解等で、編集委員会が適当と認めたもの。

2) 投稿論文の内容は、他の出版物（国の内外を問わず）に既に発表あるいは投稿されていないものに限る。重複投稿は禁止する。

3. 倫理的配慮

人および動物が対象である研究は、倫理的に配慮され、その旨が本文中に明記されていること。

4. 投稿手続

1) 投稿原稿は7部（うち6部は複写でもよい）を送付する。

2) 最終原稿提出時には、本文をテキストファイルで保存したフロッピーディスクを添付する。

3) 原稿は封筒の表に「上武大学看護学研究所紀要原稿」と朱書し、下記に書留郵送する。

〒370-1393 群馬県多野郡新町270-1

上武大学看護学研究所事務局

5. 原稿の受付および採否

1) 上記4の手続を経た原稿の到着日を受付日とする。（受付日と到着順に付す受付番号とを、投稿者に通知する）

2) 原稿の採否は査読を経て編集委員会が決定する。

3) 編集委員会の判定により、原稿の修正および原稿の種類の変更を著者に求めることがある。

6. 投稿された論文は理由の如何を問わず返却しない。

7. 著者校正

査読を経て、編集委員会に受理された投稿原稿について、著者校正は1回行う。但し、校正の際の加筆は原則として認めない。

8. 原稿執筆の要領

1) 原稿は原則として、ワードプロセッサで作成する。

2) 原稿はA4版横書きで、1行の文字数を35字、1ページの行数を28行（約1,000字）とし、適切な行間をあける。

3) 投稿原稿の1編は本文、文献、図表を含めて下記の枚数以内とする。これを超えるものについては受理しないことがある。

総説 12枚以内（12,000字以内）

原著論文 16枚以内（16,000字以内）

研究報告 16枚以内(16,000字以内)

その他 12枚以内(12,000字以内)

- 4) 外国語はカタカナで、外国人、日本語訳が定着していない学術用語などは原則として活字体の原綴で書く。
- 5) 図、表および写真は、図1、表1、写真1等の通し番号をつけ、本文とは別に一括し本文原稿右欄外にそれぞれの挿入希望位置を朱書きする。
- 6) 文献の記載方法は下記に従う。
 - (1) 文献については、本文中に著者名、発行年次を括弧表示する。
 - (2) 文献は著者名のアルファベット順に列記する。但し、共著者は3名まで表記する。

【雑誌掲載論文】

- ・著者名(発行年次): 論文の表題、掲載雑誌名、号もしくは巻(号)、最初のページ数-最後のページ数

【単行本】

- ・著者名(発行年次): 書名(版数)、出版社名、発行地
- ・著者名(発行年次): 論文の表題、編者名、書名(版数)、ページ数、出版社名、発行地

【翻訳書】

- ・原著者名(原書の発行年次)/訳者名(翻訳書の発行年次): 翻訳書の書名(版数)、出版社名、発行地

- 7) 原稿には表紙を付し、上半分には表題、英文表題(すべて大文字とする)、著者名(ローマ字とも)、所属機関名、図、表および写真等の数を書き、キーワードを日本語・英語でそれぞれ3語程度記載する。下半分には赤字で希望する原稿の種類、別刷必要部数、編集委員会への連絡事項および連絡者の住所氏名などを付記すること。
- 8) 抄録(Abstract): 和文400字、英文200word程度で記すこと。英文原稿の場合は、英文200word程度で記すこと。なお、5個以内のキーワード(key word)を記すこと。キーワードはMEDLINEデータベースのキーワード用語集「Mesh(Medical Subject Headings)」を参考とすること。

9. 著作権

著作権は本研究所に帰属する。「上武大学看護学研究所紀要」に掲載された原稿、その他の記事の全部、または一部をそのまま他の出版物等に掲載する場合には、定められた様式に基づく文書により、編集委員会の許可を得るとともに、当該の出版物等に「上武大学看護学研究所紀要」からの転載であることを明記すること。最終原稿提出時、編集委員会より提示される著作権譲渡同意書に著者全員が自筆署名し、論文とともに送付すること。

10. 著者が負担すべき費用

- 1) 掲載料: 原則として無料とする。ただし、超過分、カラー写真については実費を徴収する。
また、その他特別に要した経費は実費を徴収する。
- 2) 別刷料: 別刷は全て実費を著者負担とする。
- 3) その他: 図表等、印刷上、特別な費用を必要とした場合は著者負担とする。

附 則

この規定は平成15年4月1日から施行する。

編集後記

上武大学看護学研究所紀要第2巻第1号をお届けいたします。

平成16年度4月、満開の桜のもと看護学部が新たにスタートを切りました。

この機にあわせて、看護学研究所紀要第2巻を発行できますことに大きな喜びを感じます。

今回は、15編の論文を寄せていただきました。原著や総説、研究報告も看護学のさまざまな領域から寄せられています。興味深い内容ばかりです。

また、査読や編集、校正等々、看護学部開設の慌ただしい中、ご協力をいただきました方々に、心から感謝申し上げます。今後は年2回の発行を予定しております。

みなさまの投稿を心からお待ちしています。

上武大学看護学研究所紀要 第2巻第1号

I S S N 1348-6624

2004年5月発行

発行人 大野絢子

発行所 上武大学看護学研究所

〒370-1393 群馬県多野郡新町270-1

TEL 0274-20-2115

印刷所 荒瀬印刷株式会社